

季刊地域

Spring 2016
No.25

「農村って都会より
優遇されてるよねー」
にA子が反論!

「TPPで消費者はお得」なのか?
農業補助金をどう考える?
農地制度が農地の所有者を限定した意味

田舎での パンとピザ の可能性

大手のパンvs田舎のパンの地域経済効果

「麦から育てるパン屋」開業

山奥に人を呼ぶピザの力

製粉するには?・小麦品種は?・全粒粉パンの焼き方

お米をパンに使う方法・移動ピザ窯自慢

見よ! 沖縄の基礎体力
——民主主義への闘い

中山間地域で多面的機能支払を使いこなす

電力自由化 自然エネ電力の共同購入

【新連載】インショップ絶好調!

季刊地域

定期購読とバックナンバーのご案内

定価 926円 (税込) 送料 120円 (1冊あたり) 4冊以上は 400円

<p>No.8 2012年 冬号 後継者が育つ農産物直売所</p>	<p>No.9 2012年 春号 耕作放棄地と楽しくつきあう/現場からの森林・林業再生プラン</p>	<p>No.10 2012年 夏号 「人・農地プラン」を農家減らしのプランにしない</p>
<p>No.11 2012年 秋号 地エネ時代—農村力発電いよいよ/祭りの復活と継承</p>	<p>No.12 2013年 冬号 薪で元気になる!/買い物不便なむらが立ち上がる</p>	<p>No.13 2013年 春号 地あぶら・廃油・ガソリンスタンド/アペノミクスとTPP・道州制</p>
<p>No.14 2013年 夏号 農村はアペノミクスにだまされない/むらの葬式/もっと使える水の力</p>	<p>No.15 2013年 秋号 獣の恵み 皮・角・肉を利用する/農家・農村は企業とどうつきあうか</p>	<p>No.16 2014年 冬号 ドブロクこそ規制緩和を/山、見て見ぬふりをやめるとき</p>
<p>No.17 2014年 春号 「むらの婚活」がアツイ/飼料米—地域の所得アップにつなげたい</p>	<p>No.18 2014年 夏号 地域おこし協力隊をむらにとりこむ/新農政改革</p>	<p>No.20 2015年 冬号 米価下落に反撃開始 お米の流通読本 2015</p>
<p>No.21 2015年 春号 草刈りを担うのは誰だ/ 廃校にさせてたまるか</p>  <p>県道の草刈りで稼ぎ、草刈り隊を多面的機能支払で組織。草刈り動物ヤギ、ヒツジ、牛、豚も大活躍/小さい木質バイオマス発電</p>	<p>No.22 2015年 夏号 にぎやかなむらに！空き家徹底活用ガイド/荒れた竹林、何とかするぞ！</p>  <p>むら主体のお試し住宅とマッチング。床張り・断熱の技/竹林整備の補助金/「農村文化の伝承」に多面的機能支払を活用</p>	<p>No.23 2015年 秋号 地ワイン・地ビール・地酒 日本列島ほろ酔い自給圏構想/山の仕事で田園回帰</p>  <p>大手の酒よりむらの地酒・自酒が一番。寄合や家飲み、土産も制覇し、域外依存を減らす/畑・樹園地でも多面的機能支払</p>
<p>No.24 2016年 冬号 灯油代もガス代も電気代も域外流出ばかりじゃもったいない 熱エネあったか自給圏構想/農家・農村がTPPに反対する本当の理由</p>  <p>薪、断熱改修、オフグリッド、温泉薪ボイラー/獣肉加工所の黒字術/早わかり多面的機能支払</p>	<p>No.25 2016年 春号 田舎でのパンとピザの可能性/「農村って都会より優遇されてるよねー」にA子が反論！</p>  <p>むらの仕事をつくりお客を呼び寄せる、田舎での「パン力」「ピザ力」と国産小麦・米粉に注目中山間地域で多面的機能支払</p>	<p>【次号予告】 No.26 2016年 夏号(7月5日発売) 企業参入より百姓力 小農を増やす方法/墓がつなぐ地元との関係</p>

*1~7、19号は品切れ

ご注文書

<input type="checkbox"/> 定期購読 _____部 (年間購読料 3,704円(税込)・送料サービス)	
<input type="checkbox"/> 25号 _____部 <input type="checkbox"/> バックナンバー No.(部数) _____	
お名前:	ご住所:〒 _____
ご担当者:	
TEL. () _____	FAX. () _____

●一般社団法人 農山漁村文化協会 (農文協) 〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 ●
 注文専用フリーダイヤル TEL. 0120-582-346 FAX. 0120-133-730